



Create Hope in the World

『世界に希望を生み出そう』

2023-2024年度RIテーマ 会長 ゴードン R. マッキナリー

■ 点鐘 / 12:30 ■ 例会場 / 山形グランドホテル：サンリヴァ ■ 出席報告 / 54名 (会員数 89名)

会長メッセージ

ビジネスパーソンにとっての小唄

先週は四山楼での新年会でしたが、冒頭から「新年挨拶代りに小唄を」などということをやってしまったので、困惑された方も多かったと思います。私が「初雪に」を、山形小唄会5名で「木遣りくずし」を唄いましたが、賛否両論・議論百出でした。「初雪」は「カラオケに比べて声が出ていない」とか「菊弥の方ばかり見ていた」、「木遣り」に対しては「とてもよくハマっていた」という“おほめの”言葉のほか、「自分も唄えるのになぜ舞台上に上げなかったのか」とおっしゃった方もいました。

その中で、「小唄とはそもそも何か」という質問がありました。

小唄は、もともと「端唄(はうた)」から派生して東京で定着した「江戸小唄」が一般的で、宴席の中で、かつ狭いスペースでやるため、長唄などに比べ全体にシンプルです。伴奏は鳴り物なしの三味線だけ、三味線も撥(ばち)ではなく爪で弾き、唄の長さは1分から長いものでも3分程度です。抑揚や節回しが多いのが特徴でそれが粋な雰囲気を出しますが、歌詞だけで譜面が無いので覚えるのに皆さん工夫をされている様です。

では、小唄は単なる遊びや趣味なのかというところではなく、

ビジネス上(ビジネスパーソンとして)身に付けておくべき重要なツールという、また別の顔があります。私は銀行時代福岡支店にいましたが、博多は町人の町で、料亭や「券番」と呼ばれる芸妓組織がありました。支店長や課長にとって小唄はゴルフやカラオケ以上に重要な「必修科目」で、小唄の稽古が日中の業務時間でも認められていました。社宅では隣の課長の部屋から小唄を練習する声が聞こえて来るのですが、これがまたひどい代物でした。ただ、うまいか下手かは問題でなく、とにかく1曲でも持ち唄を披露することで、ゲストとホストがフラットな立場でおつき合いし信頼関係を築くことができる(ビジネス上はそれで初めて交渉のテーブルにつける)。それが小唄の役割でした。

時代の流れもあり博多でも京都でもそうした慣習や嗜みは廃れつつあるものの、まったく無くなった訳ではないと聞きました。「まるっきりの仕事でもないし、かと言って遊びや趣味という訳ではない」あるいは「それによって仲間も増えるし豊かな人生につながる」という点は、ロータリー活動と大いに重なるものではないかと感じています。

Rotary 初雪に
初雪に降りこめられて 向鳥
二人が中に置炬燵
ささの機嫌の爪弾きは
好いた同志の差し向かい
嘘が浮世か 浮世が実か
誠くらべの胸と胸

Rotary 木遣りくずし
エー 格子造りに御神燈さげて
兄責や家かど姉御に問えば
兄責や二階で木遣りの稽古
音頭とるのは アリヤうちの人
エンヤーラヤ サノヨーイサ
エンヤラヤ エンヤラヤレコノセ
サノセ アレワサ エンヤラヤ



国歌・ロータリーソング 委員会報告



ソングリーダー
園部さん



フレンドシップ委員会
佐藤隆彦さん

ロータリー財団寄付表彰



ポール・ハリス・フェロー：1回目
左から 中村さん・伊藤さん・佐藤利右衛門さん・佐藤公啓さん・富岡さん・千歳さん・鈴木さん・大船さん

山形ロータリークラブホームページ更新について



ICT担当 佐藤友紀さん

四つのテスト 真実かどうか みんなに公平か 好意と友情を深めるか みんなのためになるかどうか

1950年8月5日 RI加盟承認 承認番号7587号(なごやか)

- 例会/毎週水曜日12:30開会点鐘 第5週18:00開会点鐘 ■ 例会場/山形グランドホテル
- 事務局/山形市十日町1-1-26-2F ■ TEL:023-632-7777 ■ FAX:023-624-5200
- E-mail:yamagata09@rid2800.jp

ホームページはこちらから



パスワードは事務局へ
お問合せ下さい。

